

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	帯広コア専門学校
設置者名	理事長 千葉 直樹

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業	高度情報システム科	夜・通信	2 2 7 0	2 4 0	
	情報ビジネス科 (ICTプログラミングコース)	夜・通信	1 4 3 0	1 6 0	
	情報ビジネス科 (ビジネスアプリケーションコース)	夜・通信	1 3 8 5	1 6 0	
商業実務	医療ビジネス科	夜・通信	7 4 5	1 6 0	
教育・社会福祉	介護福祉士科	夜・通信	1 9 6 5	1 6 0	
医療	歯科衛生士科	夜・通信	2 7 8 5	2 4 0	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホーム>学校案内>情報公開 https://www.core.ac.jp/obicore/download/2023_jugyokamoku_jitumu.pdf
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	帯広コア専門学校
設置者名	理事長 千葉 直樹

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホーム>学校案内>情報公開 https://www.core.ac.jp/obicore/download/2023_riji_yakuin_meibo.pdf
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	帯広市副市長	2023. 9. 12～ 2024. 3. 31	地域における人材 育成アドバイス
非常勤	(株)コア代表取締役会長	2022. 4. 1～ 2024. 3. 31	経営アドバイス
非常勤	(株)クリエイティブ・ト ウエンティワン 代表 取締役社長	2022. 4. 1～ 2024. 3. 31	経営アドバイス
非常勤	十勝バス(株)代表取締役 社長	2022. 4. 1～ 2024. 3. 31	地域における人材 育成アドバイス
非常勤	都城デンタルコアカレ ッジ 事務長	2022. 4. 1～ 2024. 3. 31	eラーニング
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	帯広コア専門学校
設置者名	理事長 千葉 直樹

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>学科教員が教育課程について、最新の実務の知識・経験に基づく実践的な知識・技術等を教授するために改善案を作成する。</p> <p>教育課程編成委員会（7月～11月に2回開催）にて、改善案について委員より専門的立場からの意見を伺う。</p> <p>校内カリキュラム検討会議（12月、2月開催）で最終案を作成する。</p> <p>評議員会・理事会（3月）で承認後、4月に学校ホームページで公表する。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>ホーム>学校案内>情報公開</p> <p>https://www.core.ac.jp/obicore/download/2023_gakuseibinran.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・各学科定期試験を実施する 歯科衛生士科は60点以上合格、他の学科は50点以上合格 ・履修は、当該科目の授業時数の3分の2以上の出席で認定 ・評価の方法・基準（シラバスに記載） <p>試験、日常の学習活動、学習態度、出席状況、各種提出物など、一切の教育活動を総合的に判断し点数化して、総合評価する。</p> <p>ア 評定Sは、総合評価が9割以上 イ 評定Aは、総合評価が8割以上 ウ 評定Bは、総合評価が7割以上 エ 評定Cは、総合評価が6割以上 オ 評定Dは、総合評価が5割以上</p> <p>歯科衛生士科は評定C以上、他の学科は評定D以上を履修認定する。</p>	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・GPA科目評定（S・A・B・C・D）を点数化して、 （S=4，A=3，B=2，C=1，D=0）平均得点で分布する <p>各学科人数から下位1/4に相当する人数・点数を求め、各学科で平均得点と人数が明確になるよう度数で分布する</p>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	<p>ホーム>学校案内>情報公開>学生便覧</p> <p>https://www.core.ac.jp/obicore/download/2023_gakuseibinran.pdf</p>
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

- ・進級学年・卒業学年において前期成績会議を9月に実施、卒業学年は後期成績会議及び卒業認定会議を2月に実施する。
進級学年は進級認定会議を3月に実施し認定する。
- ・履修は、当該科目の授業時数の3分の2以上の出席をもって認定する。
- ・学則 第13条第1項別表第1に定める各学科授業科目の単位を修得した者を卒業認定する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

ホーム>学校案内>情報公開>学生便覧
https://www.core.ac.jp/obicore/download/2023_gakuseibinran.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	帯広コア専門学校
設置者名	理事長 千葉 直樹

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法（ホーム>学校案内>情報公開>財務情報）
貸借対照表	https://www.core.ac.jp/obicore/download/2022_zaimukeisan.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.core.ac.jp/obicore/download/2022_zaimukeisan.pdf
財産目録	https://www.core.ac.jp/obicore/download/2022_zaimukeisan.pdf
事業報告書	https://www.core.ac.jp/obicore/download/2022_zaimukeisan.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.core.ac.jp/obicore/download/2022_zaimukeisan.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	高度情報システム科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2870 単位時間/単位	1380単 位時間	750単 位時間	740単 位時間	時間	時間
		2870 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
45人		13人	0人	4人	19人	23人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 学科教員が教育課程について、最新の実務の知識・経験に基づく実践的な知識・技術等を教授するために改善案を作成する。 教育課程編成委員会（7月～11月に2回開催）にて、改善案について委員より専門的立場からの意見を伺う。 校内カリキュラム検討会議（12月、2月開催）で最終案を作成する。 評議員会・理事会（3月）で承認後、4月に学校ホームページで公表する。
成績評価の基準・方法

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学科定期試験を実施する 歯科衛生士科は60点以上合格、他の学科は50点以上合格 履修は、当該科目の授業時数の3分の2以上の出席で認定 評価の方法・基準（シラバスに記載） <p>試験、日常の学習活動、学習態度、出席状況、各種提出物など、一切の教育活動を総合的に判断し点数化して、総合評価する。</p> <p>ア 評価Sは、総合評価が9割以上 イ 評価Aは、総合評価が8割以上 ウ 評価Bは、総合評価が7割以上 エ 評価Cは、総合評価が6割以上 オ 評価Dは、総合評価が5割以上</p>
--

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 進級学年・卒業学年において前期成績会議を9月に実施、卒業学年は後期成績会議及び卒業認定会議を2月に実施する。 進級学年は進級認定会議を3月に実施し認定する。 履修は、当該科目の授業時数の3分の2以上の出席をもって認定する。 学則 第13条第1項別表第1に定める各学科授業科目の単位を修得した者を卒業認定する。
--

<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 入学後に基礎学力リサーチを実施し、結果をカルテ化し学習効果を上げるアドバイスを実施 授業時間のほか検定・国試対策を実施 就職担当が履歴書、面接指導等で就職支援する
--

<p>卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）</p>			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100%)	人 (%)	3人 (100%)	人 (%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>芽室町役場、株式会社 Vidaway、(株)グランイニシエート</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>・模擬面接 ・合同企業説明会参加 ・就職対策授業等</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>・情報処理技術者基本情報試験 ・C言語プログラミング能力認定試験 ・マイクロソフトオフィススペシャリスト Excel/Word エキスパート</p>			
<p>(備考) (任意記載事項)</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16人	4人	25.0%
(中途退学の主な理由) 5月・10月 学科担当との個人面談、場合によっては看護師教員との面談 教務主任、校長との面談		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	専門課程	情報ビジネス科 (ICTプログラミング コース)	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2030 単位時間/単位	1020 単 位時間	450 単 位時間	560 単 位時間	単位時 間	単位時 間
			2030 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人のうち数	8人	0人	4人	19人	23人		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	専門課程	情報ビジネス科 (ビジネスアプリケー ションコース)	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1775 単位時間/単位	1185 単 位時間	90 単位 時間	500 単 位時間	単位時 間	単位時 間
			1775 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人のうち数	10人	0人	4人	15人	19人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 学科教員が教育課程について、最新の実務の知識・経験に基づく実践的な知識・ 技術等を教授するために改善案を作成する。 教育課程編成委員会 (7月～11月に2回開催) にて、改善案について委員より 専門的立場からの意見を伺う。 校内カリキュラム検討会議 (12月、2月開催) で最終案を作成する。 評議員会・理事会 (3月) で承認後、4月に学校ホームページで公表する。
成績評価の基準・方法

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学科定期試験を実施する 歯科衛生士科は60点以上合格、他の学科は50点以上合格 履修は、当該科目の授業時数の3分の2以上の出席で認定 評価の方法・基準（シラバスに記載） <p>試験、日常の学習活動、学習態度、出席状況、各種提出物など、一切の教育活動を総合的に判断し点数化して、総合評価する。</p> <p>ア 評価Sは、総合評価が9割以上 イ 評価Aは、総合評価が8割以上 ウ 評価Bは、総合評価が7割以上 エ 評価Cは、総合評価が6割以上 オ 評価Dは、総合評価が5割以上</p>
--

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 進級学年・卒業学年において前期成績会議を9月に実施、卒業学年は後期成績会議及び卒業認定会議を2月に実施する。 進級学年は進級認定会議を3月に実施し認定する。 履修は、当該科目の授業時数の3分の2以上の出席をもって認定する。 学則 第13条第1項別表第1に定める各学科授業科目の単位を修得した者を卒業認定する。
--

<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 入学後に基礎学力リサーチを実施し、結果をカルテ化し学習効果を上げるアドバイスを実施 授業時間のほか検定・国試対策を実施 就職担当が履歴書、面接指導等で就職支援する
--

<p>卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）</p>			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7人 (100%)	1人 (%)	6人 (85.7%)	1人 (14.3%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>(株)Rabbits、(株)ネオウェーブ、徳井建設工業(株)、帯広第一病院、税理士法人 TAP (株)近藤商会</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> 模擬面接 ・ 合同企業説明会参加 ・ 就職対策授業等 			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報処理基本情報試験、ITパスポート試験 ・ 日商簿記検定3級 ・ FP技能検定 マイクロソフトオフィススペシャリスト Excel/Word エキスパート 			
<p>(備考) (任意記載事項)</p>			

中途退学の現状（ICT プログラミングコース）		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13人	1人	7.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 5月・10月 学科担当との個人面談、場合によっては看護師教員との面談 教務主任との面談		

中途退学の現状（ビジネスアプリケーションコース）		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 5月・10月 学科担当との個人面談、場合によっては看護師教員との面談 教務主任との面談		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門課程	介護福祉科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2115 単位時間/単位	1500 単 位時間	135 単 位時間	480 単 位時間	0 単位 時間	0 単位 時間
		2115 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		23人	6人	3人	18人	21人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>(概要)</p> <p>学科教員が教育課程について、最新の実務の知識・経験に基づく実践的な知識・技術等を教授するために改善案を作成する。</p> <p>教育課程編成委員会（7月～11月に2回開催）にて、改善案について委員より専門的立場からの意見を伺う。</p> <p>校内カリキュラム検討会議（12月、2月開催）で最終案を作成する。</p> <p>評議員会・理事会（3月）で承認後、4月に学校ホームページで公表する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学科定期試験を実施する 歯科衛生士科は60点以上合格、他の学科は50点以上合格 履修は、当該科目の授業時数の3分の2以上の出席で認定

<p>・評価の方法・基準（シラバスに記載） 試験、日常の学習活動、学習態度、出席状況、各種提出物など、一切の教育活動を総合的に判断し点数化して、総合評価する。 ア 評価Sは、総合評価が9割以上 イ 評価Aは、総合評価が8割以上 ウ 評価Bは、総合評価が7割以上 エ 評価Cは、総合評価が6割以上 オ 評価Dは、総合評価が5割以上</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進級学年・卒業学年において前期成績会議を9月に実施、卒業学年は後期成績会議及び卒業認定会議を2月に実施する。 進級学年は進級認定会議を3月に実施し認定する。 ・履修は、当該科目の授業時数の3分の2以上の出席をもって認定する。 ・学則 第13条第1項別表第1に定める各学科授業科目の単位を修得した者を卒業認定する。
<p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学後に基礎学力リサーチを実施し、結果をカルテ化し学習効果を上げるアドバイスを実施 ・授業時間のほか検定・国試対策を実施 ・就職担当が履歴書、面接指導等で就職支援する

<p>卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）</p>			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7人 (100%)	0人 (%)	7人 (100%)	0人 (%)
<p>(主な就職、業界等) 医療法人十勝勤労者医療協会、社会福祉法人幕別真幸協会、(社)帯広太陽福祉会、介護老人保健施設りらく、(株)ニチイ学館、特別養護老人ホーム帯広慈恩の里</p>			
<p>(就職指導内容) ・模擬面接 ・合同企業説明会参加 ・就職対策授業等</p>			
<p>(主な学修成果(資格・検定等)) ・介護福祉士国家試験受験資格 ・ケア・コミュニケーション検定 ・ケアクラーク技能認定試験</p>			
<p>(備考) (任意記載事項) 介護福祉士国家試験 100%合格</p>			

<p>中途退学の現状</p>		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24人	3人	12.5%
<p>(中途退学の主な理由) 進路変更</p>		

(中退防止・中退者支援のための取組)

5月・10月 学科担当との個人面談、場合によっては看護師教員との面談
教務主任との面談

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	医療ビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1735 単位時間/単位	1260 単 位時間	240 単 位時間	235 単 位時間	単位時 間	単位時 間
			1735 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		20人	0人	3人	16人	19人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

学科教員が教育課程について、最新の実務の知識・経験に基づく実践的な知識・技術等を教授するために改善案を作成する。

教育課程編成委員会(7月～11月に2回開催)にて、改善案について委員より専門的立場からの意見を伺う。

校内カリキュラム検討会議(12月、2月開催)で最終案を作成する。
評議員会・理事会(3月)で承認後、4月に学校ホームページで公表する。

成績評価の基準・方法

(概要)

- 各学科定期試験を実施する

歯科衛生士科は60点以上合格、他の学科は50点以上合格

- 履修は、当該科目の授業時数の3分の2以上の出席で認定

- 評価の方法・基準(シラバスに記載)

試験、日常の学習活動、学習態度、出席状況、各種提出物など、一切の教育活動を総合的に判断し点数化して、総合評価する。

ア 評定Sは、総合評価が9割以上

イ 評定Aは、総合評価が8割以上

ウ 評定Bは、総合評価が7割以上

エ 評定Cは、総合評価が6割以上

オ 評定Dは、総合評価が5割以上

卒業・進級の認定基準

(概要)

- 進級学年・卒業学年において前期成績会議を9月に実施、卒業学年は後期成績会議及び卒業認定会議を2月に実施する。

進級学年は進級認定会議を3月に実施し認定する。

- 履修は、当該科目の授業時数の3分の2以上の出席をもって認定する。

- 学則 第13条第1項別表第1に定める各学科授業科目の単位を修得した者を卒業認定する。

学修支援等

(概要) ・入学後に基礎学力リサーチを実施し、結果をカルテ化し学習効果を上げるアドバイスを実施 ・授業時間のほか検定・国試対策を実施 ・就職担当が履歴書、面接指導等で就職支援する
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10人 (100%)	0人 (%)	10人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 社会医療法人北斗、(有)ミドリ調剤、帯広徳洲会病院、(株)なの花北海道、ともだ内科消化器科クリニック、アイン薬局、つがやす歯科医院、ナカジマ薬局			
(就職指導内容) ・模擬面接 ・合同企業説明会参加 ・就職対策授業等			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・医療事務技能審査試験 医科 ・歯科 ・調剤事務管理士技能認定試験 ・医師事務作業補助技能認定試験			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18人	1人	5.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 5月・10月 学科担当との個人面談、場合によっては看護師教員との面談 教務主任との面談		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	専門課程	歯科衛生士科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2860 単位時間/単位	1110 単 位時間	270 単 位時間	1480 単 位時間	単位時 間	単位時 間
		2860 単位時間					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
90人	50人	0人	4人	44人	48人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>術等を教授するために改善案を作成する。</p> <p>教育課程編成委員会（7月～11月に2回開催）にて、改善案について委員より専門的立場からの意見を伺う。</p> <p>校内カリキュラム検討会議（12月、2月開催）で最終案を作成する。</p> <p>評議員会・理事会（3月）で承認後、4月に学校ホームページで公表する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学科定期試験を実施する 歯科衛生士科は60点以上合格、他の学科は50点以上合格 履修は、当該科目の授業時数の3分の2以上の出席で認定 評価の方法・基準（シラバスに記載） <p>試験、日常の学習活動、学習態度、出席状況、各種提出物など、一切の教育活動を総合的に判断し点数化して、総合評価する。</p> <p>ア 評価Sは、総合評価が9割以上 イ 評価Aは、総合評価が8割以上 ウ 評価Bは、総合評価が7割以上 エ 評価Cは、総合評価が6割以上</p> <p>歯科衛生士科は評価C以上、他の学科は評価D以上を履修認定する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 進級学年・卒業学年において前期成績会議を9月に実施、卒業学年は後期成績会議及び卒業認定会議を2月に実施する。 進級学年は進級認定会議を3月に実施し認定する。 履修は、当該科目の授業時数の3分の2以上の出席をもって認定する。 学則 第13条第1項別表第1に定める各学科授業科目の単位を修得した者を卒業認定する。
学修支援等
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 入学後に基礎学力リサーチを実施し、結果をカルテ化し学習効果を上げるアドバイスを実施 授業時間のほか検定・国試対策を実施 就職担当が履歴書、面接指導等で就職支援する

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23人 (100%)	人 (%)	23人 (100%)	人 (%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>つがやす歯科医院、(医)和光会 高田歯科医院、こにしファミリー歯科クリニック、あい歯科（東京）、医療法人 HAPPY&SMILE いしかわ歯科、アルファ歯科矯正歯科、大内歯科医院、さかの歯科クリニック、千田歯科クリニック（札幌）、</p>			

協立病院、竹田歯科クリニック、なめき歯科医院、上土幌歯科クリニック 他
(就職指導内容) ・ 模擬面接 ・ 合同企業説明会参加 ・ 就職対策授業等
(主な学修成果 (資格・検定等)) ・ 歯科衛生士国家試験受験資格 ・ 医療事務技能審査試験 (歯科)
(備考) (任意記載事項) R04 年度歯科衛生士国家試験 合格率 95.7%

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
60人	2人	3.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更、体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 5月・10月 学科担当との個人面談、場合によっては看護師教員との面談 教務主任との面談		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
高度情報システム科	150,000 円	460,000 円	342,000 円	その他 実習費、施設管理費、 放送大学 2 科目履修料金
情報ビジネス科	150,000 円	460,000 円	342,000 円	
介護福祉科	150,000 円	460,000 円	382,000 円	
医療ビジネス科	150,000 円	460,000 円	342,000 円	
歯科衛生士科	150,000 円	460,000 円	360,000 円	その他 実習費、施設管理費
修学支援 (任意記載事項)				
学費支援制度 ・A0 入学 (入学金 5 万円免除) ・指定校推薦入学 (入学金 7 万 5 千円免除) ・新入生特待生 (入学金 15 万円免除、7 万 5 千円免除) ・ファミリー特別制度 (入学金 5 万円免除)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホーム>学校案内>情報公開>学校評価 https://www.core.ac.jp/obicore/download/2022_jikohyouka.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
評価項目 (1) 教育理念・目標 (2) 学校運営 (3) 教育活動 (4) 学修成果 (5) 学生支援 (6) 教育環境 (7) 学生の受入れ募集 (8) 財務 (9) 法令等の遵守 (10) 社会貢献・地域貢献 基本方針 ・学校の教職員自身が教育活動を常に見直し学校運営の状況を把握する ・早期に課題等を発見できる体制をつくる ・学校と保護者・地域をつないで相互の連携協力を深める ・学校評価について全教職員で共通理解を図り十分に意見交換を行い、学校改善に向けて取り組む		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
(株)オークリーフ牧場 取締役副社長	令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日(1 年)	卒業生
石井農場 代表	令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日(1 年)	PTA
帯広北高等学校 校長	令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日(1 年)	高校
帯広商工会議所 事務局長	令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日(1 年)	団体
(株)ズコーシャ IT 事業部部長	令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日(1 年)	企業
学校関係者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホーム>学校案内>情報公開>学校評価 https://www.core.ac.jp/obicore/download/2022_gakkokankeisyahyouka.pdf
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.core.ac.jp/obicore/
--